

# 連合会定期総会



あいさつする足田県P連会長(写真上)と役員(写真下)

**育ちを支える**

はじめに足田啓二県P連会長は「昨今の自然災害時において子どもたちの生活に一番に関わることは、子どもたちを育てることができる組織はPTAだ」と述べ、仙台・岩手県P連等々で聞く。子どもたちを取り巻く社会・教育環境がかなりのスピードで変化していく中、事件・事故等を含め子どもに関わる心苦しいニュースが飛び

込んできくる。PTAはこの環境改善に向け学校・地域・行政と連携を密にして、子どもたちの育ちを支える環境作りを取り組んでいく。全会員が一丸となり会の目的である児童・生徒の健全育成と福祉増進のために邁進できる環境作りを私とともに進めてほしい。今年はいよいよ九Pおおいだ大会の開催。約8千人の会員を大分に迎え、今後のPTA活動やその在り方について色んな協議ができる。皆さんのご協力とご支援をお願いしたい」とあいさつした。

続いて、PTA活動に貢献した豊後大野市立大野小学校PTAほか11団体と、小山隆宏豊後高田市P連会長をはじめ2名に感謝状が贈られた。

次に、広瀬勝貞県知事(代理木津博文県教育庁教育次長)をはじめ、井上伸史県議会議員(代理御手洗吉生県議会副議長)、工藤利明県教育

大分県PTA連合会  
平成29年度  
第69回 定期総会

平成29年度大分県PTA連合会定期総会が6月2日、広瀬勝貞大分県知事(代理木津博文県教育庁教育次長)をはじめとする多数の来賓を迎え、県下16郡市等P連の代議員102名と被表彰者が出席して県教育会館で開催された。

未来を担う子どもたちの健全育成をめざし会員の総力を結集することを宣言し、第62回日本PTA九州ブロック研究大会をおおいだ大会の成功に向けた決議も行われた。

# 「地域の宝」を協育

## 目的を再認し使命を担う

### 自己実現を支える

委員教育長(代理阿南典久県教育庁社会教育課長)の来賓祝辞があった。

広瀬知事は「大分県における喫緊の課題は少子高齢化・人口減少。保護者が安心して子育てができるよう医療費・保育料等の経済的支援を行い、放課後児童クラブの充実等を図る。教育に関しては家庭・学校・地域が連携協力して子どもの教育を推進する「協育ネットワーク」を中心に、子どもの自己実現を支える取組を進めている。九Pおおいだ大会では、議論された内容が県内各地へ広がり、家庭・学校・地域の絆が益々強くなる

ことを祈念する」と述べた。議事に入り、平成28年度の報告、平成29年度の提案があり、いずれも可決承認された。役員改選について初めに選考委員長より経過が報告され、会長に足田啓二現会長が再選承認された。次に役員も承認され、新体制が整った。

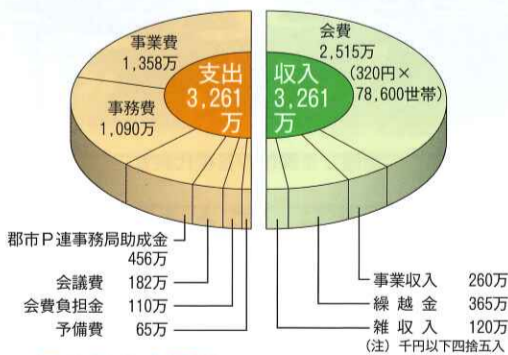
続いて「第62回日本PTA九州ブロック研究大会おおいだ大会」に向け分藤貴弘大会実行委員長が「みんなで力を合わせ成功させたい。みんなが参加し楽しむPTAの姿を九州・全国に向けて発信できれば」と抱負を述べた。大会の概要・予算案の報告がなされ、可決承認された。

最後に新旧役員があいさつし、総会は滞りなく終了した。



足田会長と被表彰者の皆さん

### 平成29年度一般会計予算



### 県PTA会費は

一世帯あたり450円で、単位PTAごと一括納入となっています。320円が県P会費。130円はPTA安全補償制度の保険料で、一般会計の収支に含まれていません。

## 大分県PTA



はぐく美

### 発行所

大分市大字下郡496-38  
大分県教育会館2F  
大分県PTA連合会  
☎(097)556-9055

責任者  
足田啓二

印刷所  
大分市下郡3154の22  
九州凸版印刷株式会社



### 広報紙コンクール ② 受賞校一覧



### 九Pおおいだ大会 ③ あと107日



### 平成29年度の役員紹介

会長 足田啓二 佐伯市	副会長 横松寛二 中津市	理事 藤澤淳一 豊後高田市	参事 堤郁夫 宇佐市	伊藤みどり 杵築市	川野雄一 臼杵市	分藤貴弘 大分市	横松寛二 中津市	佐伯智 別府市
-------------------	--------------------	---------------------	------------------	--------------	-------------	-------------	-------------	------------

後藤浩智 別府市	梅田英明 杵築市	池部日出 日出町	宮園健仁 国東市姫島村	若林恵太 津久見市	坂本幸彦 由布市	工藤薫 佐伯市	小野修 竹田市	平川和也 豊後大野市	松山由美 日田市	松山和也 玖波郡	甲斐みどり 津久見市
-------------	-------------	-------------	----------------	--------------	-------------	------------	------------	---------------	-------------	-------------	---------------

会計監査委員 黒沢周次 中津市	大塚俊夫 別府市	河野公則 豊後高田市	顧問 富永大輔 大分市	相談役 池内晴一 竹田市	事務局長 藤田千克由 大分市	島田智樹 大分市	九P担当事務局長 幸順一 大分市
-----------------------	-------------	---------------	-------------------	--------------------	----------------------	-------------	------------------------



「いつも私  
たちと俳句の  
先生は抱きあ  
うの。それか  
ら先生は「大きくなったね」っ  
て言って嬉しそうに頭を撫で  
てくれるよ」「まだまだある  
よ。先生はほくちたちをつかま  
えて「連れて帰りたい」って  
言うんだよ」▼四月、新しい  
担任に私の紹介をしてくれる  
子どもたちだ。その元気さと  
優しさが眩しい。▼今の子ども  
たちは自分の考えを話すこと  
が上手になった。自分の主張  
が出来るようになった。けれど  
も相手の話に耳を傾けることは  
苦手だ。▼大人も然り……。自  
分の主張は見事だが、相手の話  
を傾聴し、その上に乗っての発言  
にはなかなか出せない。相手の話  
に耳を貸さず自分の考えを押し  
通す。相手に共感しながら意見  
を述べる。これはコミュニケーション  
を築く上で大切なことだと思  
うのだが……。▼この相手に共  
感する心は、言葉をかえれば  
「感じる心」とも言えそうだ。  
相手を思い相手に寄り添う私  
たちでありたいものだ。その  
ためには普段から、感性を磨  
く努力を積み重ねることだ。  
▼自然に触れ心ときめくよう  
な、また、心がふるえるよう  
な体験をすることだ。そして、  
多くの人々との交流を通して  
学ぶことだ。多忙な時こそ、  
心を自然に遊ばせて自然の声  
に耳を傾けることだ。自然は  
きっとあなたに囁きかけてく  
れるだろう。▼さみしいな花  
火がきて今日終る▼風が吹き  
風りんちりん泣いている  
▼白いくつはいてるだけで風  
みたい▼みんなのねじまわり  
空までかけっこだ▼十分間の  
戸外活動のあとの小学校四年  
生の作品である。子どもたち  
の感性あふれる作品を眺めな  
がら、私の心は豊かになる。

### 平成29年度の 主な行事

- ▼第65回日本PTA全国研究大会 仙台大会 8月25日(金)〜26日(土)
- ▼第62回日本PTA九州ブロック研究大会 おおいだ大会 (分科会)10月21日(土) (全体会)10月22日(日)
- ▼県PTA指定研究発表会 (平成28・29年度) 九重町立東飯田小育宝会 11月18日(土)
- ▼大分市立大分西中PTA 11月23日(木)
- ▼由布市立由布川小PTA 11月25日(土)
- ▼教育問題懇談会 1月31日(水)



# 県知事賞

## 大分市立豊府小学校PTA

# ほうふ



表彰式では来賓・受賞校の代表者約60名が出席する中、疋田啓二県PTA連合会長が「PTA広報紙は、学校での子どもや地域の方々に伝え、地域全体で子どもを育てる意識を培う役割がある。児童・生徒の生活状況や保護者の思いを広報紙に表すことにより、今日的課題が提起される。そしてそのうえでPTA活動を企画・実施する。保護者と保護者をつなぐ、子どもを育てて支え合う役割は重要である。賞を受賞された広報紙は、各小中学校のPTA活動に対する意気込み、子どもと地域を結ぶ活動の紹介、学校での様子、独自の活動を中心に紙面を作り、保護者の思いを伝える優れた内容が評価された。

4月18日、第40回大分県PTA広報紙コンクールの表彰式が大分県教育会館で行われた。県内の小・中学校PTA・育友会から、126名の応募があり、48点が受賞した。

表彰の後、帆足三郎審査委員長が講評。「この広報紙コンクールも40回を迎え、伝統あるコンクールとなってきた。それにふさわしく、全体のレベルが上がっており、甲乙つけがたい作品の数々だった。その中でなぜ、大分市立豊府小学校(佐藤真人P会長)が県知事賞に輝いたのか。それは、大きな見出しや写真を載せるような見た目の派手さはないが、とても細やかな取材をしており、興味関心を引く格調高い文章の書き方だった。手に取ってじっくり読みたく

### 見た目も大事 されど中味が勝負



県知事賞の豊府小広報部長と疋田会長



一紙一紙を丁寧に審査

なる広報紙である。全体的には、①大胆な見出し使いが多くなってきた。しかし、必要とするところに的確な見出しを付けて欲しい。②文章は、6〜7行で改行をする。数字は洋数字にする。③レイアウトは読みやすく、わかりやすく、すっきりを基本にし、縦組み横組みを活用し、変化をつける。④写真の使い方に工夫をする」と述べた。

今回の40回を最後に審査委員長を退任される帆足委員長に、会場の参加者から惜しみない感謝の拍手が贈られた。



緊張した表情の各校代表者

## 第40回 大分県PTA広報紙コンクール入賞校

- |  |  |
|--|--|
| <b>県知事賞</b><br>「ほうふ」 豊府小(大分市)  | <b>県中学校長会長賞</b><br>「わざだにし」 穂田西中(大分市)   |
| <b>県PTA連合会長賞</b><br>「広報つるおか」 鶴岡小(佐伯市)<br>「夢つるや」 鶴谷中(佐伯市)<br>「さいき城南」 佐伯城南中(佐伯市) | <b>大分合同新聞社賞</b><br>「滝尾つ子」 滝尾小(大分市)<br>「ひがし山」 東山幼小中(別府市)<br>「会報ひがしが丘」 三重東小(豊後大野市) |
| <b>県議会議長賞</b><br>「おおやま」 大山小(日田市)   | <b>OBS賞</b><br>「広報かわさき」 川崎小(日出町)   |
| <b>県教育長賞</b><br>「ささむた」 寒田小(大分市)<br>「たかせ」 高瀬小(日田市)                              | <b>TOSテレビ大分賞</b><br>「よしの」 吉野中(大分市)   |
| <b>県小学校長会長賞</b><br>「しきど」 敷戸小(大分市)  | <b>OAB賞</b><br>「ふうれん」 川登小(臼杵市)   |
|  | <b>大分ケーブルテレコム賞</b><br>「ややま」 戴星学園(豊後高田市)  |

### 優良賞(順不同)

- |      |      |       |      |      |
|------|------|-------|------|------|
| 鶴居小  | 荷揚町小 | 川添小   | 附属小  | 由布川小 |
| 沖代小  | 下郡小  | 戸次小   | 南大分中 | 佐伯東小 |
| 駅館小  | 日岡小  | 東種田小  | 戸次中  | 咸宜小  |
| 見小   | 津留小  | 田尻小   | 鶴崎中  | 光岡小  |
| 中    | 明野北小 | 大在西小  | 下江小  | 三隈中  |
| 武蔵西小 | 明治小  | 野原東部小 | 西中   | 大山   |

### 審査員

帆足 三郎(委員長)  
 岩尾 淳一 大分県PTA連合会「はぐく美」顧問  
 石井圭一郎 大分県教育庁社会教育課主任社会教育主事兼課長補佐(総括)  
 疋田 啓二 大分県PTA連合会会長(敬称略)

尚、入賞紙のうち10枚が「全国小・中学校広報紙コンクール」に出品されます。

### お知らせ

☆第40回大分県PTA広報紙コンクール  
優秀広報紙縮刷版

1冊800円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県PT事務局までお申し込み下さい。  
 県内の各小・中・特別支援学校には郡市P連を通して1冊贈呈します。  
 大分県PTA連合会事務局  
 ☎(097) 556-9055

宇佐市母親代表  
今永 由美

現在進行形の子育て真っ最中の私ですが、常に心に留めている言葉がいくつかあります。私が長男(今年22歳)を出産してすぐに、助産師さんが病室に入ってから来ました。泣く息子を前に、どうしていいかわからず泣いていた私を見かねたので、「そんな慌ててお母さんならんでもいいよ。まだ産まれて数日。あなたもお母さんになって何日目かですよ。この子が一歳の誕生日がきて、お母さん一歳なんだから。赤ちゃんと一緒にお母さんになっていくから心配せんでも大丈夫」不安いっぱいなのは、この助産師さんの言葉にどれだけ励まされたことか。この日から始まった子育ての悩みや壁にぶつかっても、「わかんなくても大丈夫。初めての事だらけなんだから! 私は、この子の母親〇年生」と、自分を励ましながら乗り越えてきたように思います。

あと一つ。どの方の講演かは忘れてしまいましたが、お話の中に出てきた言葉が心に残っています。「乳児期、肌を離さず。幼児期、手を離さず。思春期、目を離さず。成人までは、心を離さず」  
 長男は成人を迎えましたが、私は心を離さずにはいられます。下の娘たちの母親になって18年、15年を迎えましたが、まだまだ毎日新しいことの発見の日々。叱ることは減っても叱られることが増えつつありますが、毎日楽しいお母さんです。

県知事賞受賞の大分市豊府小学校古木奈緒美広報部長は「とにかく広報部長が楽しく参加できることを基本に活動を行った。ほとんどの部員が未経験の中、こだわりがないことがこだわりだった。作る側ではなく、読み手である保護者の立場に立ち、自分たちが知りたいことは何だろうと考え取材を行った。その純粋な気持ちと紙面に表れたのだと思う」と受賞の感想を笑顔で語った。

また、県PT連合会長の佐伯市立鶴谷中学校の西條智子広報委員長は「年間テーマにはこだわりを持って臨み、取材を行っている。広報委員には未経験者も多いが、気負うことなく各々ができる活動を行っている。経験者は、未経験者の良き手本となり、それが繋がって鶴谷の広報紙ができていく。委員会は活気があって楽しんで広報紙を作っている」と活動を振り返った。

式後は、記念撮影や会場内に並べられた入賞校の広報紙を手にとって見入る姿や、他校の広報委員とお互いの広報紙作りについて、熱心に情報交換をする姿が見られた。



# あと107日! 開催せまる

大会スローガン

ともにつながり育て合おう!  
光り輝く地域の宝のために  
PTA・協育・こどもの未来

第62回日本PTA九州ブロック研究大会

## おおいた大会

分科会 10月21日(土)

全体会 10月22日(日)

おおいた県の  
しらしんけん!  
見せちゃるけん!

いよいよ開催が迫ってきた第62回日本PTA九州ブロックおおいた大会。平成27年7月に準備委員会が発足して以降、正田啓二県P連会長をはじめとする委員によって準備が進められてきた。前回のおおいた大会から10年を経た今年、大分県PTA連合会の活動に九州各県からの注目が集まる。



### 全体会記念講演 講師紹介



神田 岳委 氏

演題「どうぶつと共に生きる」

#### プロフィール

アフリカンサファリ取締役 獣医師  
大分県臼杵市出身

大分県立臼杵高校を卒業後、東京にある日本獣医畜産大学(現日本獣医生命科学大学)に入学。平成6年に獣医師となり、「九州自然動物公園アフリカンサファリ」に入社。県内外の教育機関や各種団体等へ、動物から学ぶ愛情の大切さに関する講演を幅広く行っている。

著書「サバンナに生きる」(大分合同新聞社)  
フォトブック「もふもふ日誌」(リプロ出版)  
他、テレビやラジオなど出演多数

### 各会場から発信! PTAのあり方を模索する

分科会	研究領域	会場
第1分科会	組織・運営	別府市 ビーコンプラザ フィルハーモニアホール
第2分科会	研修・啓発活動	宇佐市 宇佐文化会館・ウサノピア
第3分科会	コミュニティ形成・ 連携強化・広報活動	中津市 中津文化会館
第4分科会	健全育成・体験活動	大分市 コンパルホール 文化ホール
第5分科会	児童生徒支援・学校支援	大分市 iichiko音の泉ホール
第6分科会	教育問題(小学校)	臼杵市 臼杵市民会館
第7分科会	教育問題(中学校)	佐伯市 佐伯文化会館
第8分科会	人権教育・特別支援教育	大分市 大分県教育会館
第9分科会	ネットモラル・ メディアリテラシー	大分市 ホルトホール大分 大ホール
特別分科会	未来につなぐPTA活動	大分市 iichikoグランシアタ

全体会 記念講演講師	九州アフリカ・ライオン・サファリ株式会社 獣医師 神田 岳委 氏	別府市 ビーコンプラザ コンベンションホール 他
---------------	-------------------------------------	-----------------------------

- 【学校教育部会】
  - ・教育問題懇談会について
  - ・全単位PTA会長研修会開催時期について
- 【家庭教育部会】
  - ・指定研究発表の審査方法
  - ・県P補償制度の加入促進にむけて
  - ・「保護者心得六箇条」の検討・普及・推進
  - ・三行詩審査について
- 【母親部会】
  - ・平成29年度活動年間計画
  - ・PTA活動の情報交換

各専門部の主な協議内容は次のとおり。

理事部では、日P・九Pの経過報告と定期総会の反省と課題について意見交換を行った。また、今後の県P連の各種行事内容を確認し、共通理解を深めた。

各専門部では、部が取り組む県P連の主要事業の取組について協議した。

各専門部の主な協議内容は次のとおり。

経過報告後の協議事項では、全体会、各分科会の組織づくりや運営の基本、7月の実行委員会までの業務確認を行った。また各郡市等の責任者、事務局に向けて大会開催に必要な多岐にわたる係の担当業務や進行要項、各郡市等への参加要請数、スタッフ要請数などの共通理解を求めた。会場からは、各分科会、全体会の運営を担う責任者の立場から具体的な質問もあがり、意気込みが感じられる話し合いとなった。開催まであと107日。大分県のPTA会員の心がひとつになる日まであと少し。



### 心をひとつに

～大会成功を目指して～

6月16日(金)、県P連幹部研修会が県内16郡市等から約70名が出席し、大分市コンパルホールで開催された。

平成29年度県P連幹部研修会

あと4ヶ月  
開催に向け情報発信

# 学校紹介

平成28・29年度  
大分県PTA連合会  
指定研究発表校

九重町立

## 東飯田小学校

開催日 11月18日(土)

東飯田小学校は、大分県の南西部に位置する九重町にあります。自然豊かな地域で、国指定の名勝地「龍門の滝」があり、滝すべりは夏の風物詩となっています。学校の特色の一つとして、子どもたちが元気に外遊びできる、なかよし公園があり、自然体験を通じた健やかな体づくりにつながっています。また本校は地域の元気の源であり、教職員・保護者・地域との連携をとりながらPTA活動や各学年行事での交流も盛んに行っています。発表に向け「地域で育てる『宝っ子』」教育の風は「東」から「西」を研究テーマに掲げ東飯田小学校の新たな魅力づくりをめざし活動を実践しています。地域とのつながり、教職員・保護者との関わりなどを通して、本校の温かい雰囲気を感じていただけたら幸いです。

大分市立

## 大分西中学校

開催日 11月23日(木)

本校は北に大分港、西に高崎山を臨み、南は高速インター、東は市街地の夜景が楽しめる、郊外の自然豊かで閑静な佇まいの場所に位置します。生徒数は450名程の中規模校ですが、中庭では日々笑い声がこだまし、無言清掃の取組や議論を楽しむ授業風景を見ることが出来ます。本年度は「夢がきこえる大分西中学校」をスローガンに、生徒、教職員と保護者で、よりよい学校づくりを進めています。PTA活動では学校が行う人権教育の上、「つながり」を大切にしたい関係づくりをめざし生徒・教職員・保護者が関わりあう常時活動などを行っています。本年度は、災害時に実施できる学校独自の防災組織の構築と地域との連携を視野に命の大切さ・支え合いを考えることのできる子どもたちを育てていこうと取り組んでいます。

由布市立

## 由布川小学校

開催日 11月25日(土)

由布川小学校は大分市と由布市の市境に位置し「やせうま」の発祥の地でもあります。児童数が減少した時期もありましたが、大分医科大学附属病院ができた事で児童数も徐々に増え、現在では由布市で2番目に児童数の多い小学校となりました。本年度は「かしこく・やさしく・たくましく笑顔の花咲く由布川つ子」を合言葉に「未来に届くよい習慣を身につける」を教育目標としています。さらに由布川でいち早く学校運営協議会(コミュニティスクール)の指定を受け学校・保護者・地域が協力して子どもたちの安心・安全な環境づくりに取り組んでいます。PTA活動ではポイント制を導入し子どもたちのために何ができるかを考え個々の「できる」を紡ぎ大きな力として活動しています。ご来校を心よりお待ちしております。

指定研究は、県P連の特色ある事業。指定を受けた県内の3単P(大分市、県南、県北から各1単P)は、2年間にわたり特色あるPTA活動に取り組み、2年次に公开发表する。(今年度の発表内容ははぐく美331号で紹介する)



### 拳の夢

世界の強豪が集まった「世界卓球」。チーム日本の戦いぶりは、熱い感動を残した。なかでも、中学生選手の活躍には関心度が最高に達した感がある。幼小の頃、顔よりも大きく見えるラケットを持ち、涙を流しながら白球に向き合う姿を映し出した映像には、誰もが見入り、共鳴する心の震えがあっただろう。成長し、はじめて味わう今回の大会。厚い胸板が打ち出す戦略的な白球を細腕と巧

緻なラケットさばきが撃破につながり、拳を高く突き上げて吠える。試合を重ねるうちに心に詰めておかねばならないことが起こった。「強くなった」「まだ、強くなれる」「自分を出せた」と、試合後の選手のことば。吼えて、拳を握ったのは、この言葉への実感を表現するポーズではないかと思った。今は、もう、涙を出さない。ポイントの陰には、自分流の戦いが貯まっている。「練習の「練」は、「練ること」。磨き、鍛えること。練って練り上げられた技が必ずしも結果に結びことはない。厳しい状況に追い込まれてくり出した技が決まる成功感に満足する。「練り」の喜び。毎日の暮らしに、「練り」の決め技が潜んでいるはずである。拳をつくってみよう。そっと、強く、弱く。手ごたえがあれば止めるのだ。それが、自分の「練り」だ。自分だけのおいしい「あんこ」にめぐりあいたい。

一面コラム欄が  
新しくなりました  
「研北寸心」から  
「ときめき」

※筆者紹介\*  
氏名 小野 京子

【履歴】  
大分市立荏隈小学校校長退職  
【現在】  
大分大学教育学部附属中学校  
学校評議員  
俳人協会会員

【著書】  
「ときめき」  
「いやしの百句」他

☆今年度の「はぐく美」編集  
スタッフを紹介します。  
小原容子(編集長)  
田中留理子 廣瀬多賀子  
岩尾淳一(はぐく美顧問/  
チョココーナー担当)

【編集後記】  
先日の地震の際、地震が苦  
手な娘が恐怖心から思わず父  
親に抱きついた。「見て」と  
父は嬉しそう。思春期の娘が  
父と休戦したひととき。(O)  
▼梅雨に入り、晴天が続いた。  
公園の紫陽花に陰りを感じ、  
緑に色彩が映えない。恵みの  
雨が景色を変え、我が家族  
を癒やす特効薬を求む。(T)  
▼「僕は人の悪口を言わない」  
中学に入って反省文を書くこ  
とが多くなった次男が言う。  
色々あったけれど、そう言え  
るだけでよしとする。(H)

平成28年度

## 日本PTA国内研修事業

沖縄県・渡嘉敷島 3月26日～30日

(※学校・学年はH28当時)

### 出会いに感謝

竹田市立竹田中学校

2年 吉岡 愛華

私は母の勧めで、この研修に応募しました。この研修はほとんど班行動でした。初日は、みんな話さないし男女の壁もありました。正直、このメンバーで大丈夫かなと思いましたが、野外炊飯や出し物などひとつひとつのプログラムを班のみんなで協力しながら行っていると自然と男女

の壁もなくなり、みんな笑顔でお互いを信頼し合えるようになりました。この班になって良かったと思えました。

国内研修は、本当に充実した5日間でした。この国内研修で学んだ皆さんのことを、これから活かしていきたいと思っています。

PTAのスタッフの方々、渡嘉敷島の方々、リーダーの方々、班のみんな、そして、この研修参加を勧めた母に心から感謝します。

## 互いを信頼する友情の形



短い期間。でも得られたものは大きい

### 僕が学んだ大切な事

豊後高田市立田染中学校  
2年 財前 拓実

僕はこの研修で、2つのとても大切なことを学びました。

一つ目は「平和」です。渡嘉敷島で行った集団自決の話聞いて、とても悲しくなりました。でも、その話の中に出た「命どう宝」という言葉に僕は感動し、深く共感しました。二つ目は、この研修で得た絆の強さです。たった5日間なのに、活動していくうちに友情が芽生え、深まり、次第に強くなっていききました。僕は今まで、本当に強い友情というものを知りませんでした。でも、この研修でそれがなんだか分かった気がします。僕はここで学んだことを、ずっと大切にしていきたいです。貴重な体験をさせてくださった本当にありがとうございました。

## 大丈夫ですか?!

本年度…すでに100件以上の事故報告があります。

「学生・子ども総合保険」特別加入受付中

	8月1日加入	9月1日加入	10月1日加入
募集期間	7月1日～7月25日	8月1日～8月25日	9月1日～9月22日
補償開始	8月1日午後4時	9月1日午後4時	10月1日午後4時
補償終了	平成30年4月1日午後4時		

### 大分県PTA連合会補償制度

専用の払込取扱票をPTAより取り寄せ、保険料をはぐく美保険サービスにお問合せください。  
〈保険にかかるお問い合わせ〉  
0120-56-8993  
(受付時間:月～金 9:00～17:00)

専用の払込取扱票をPTAより取り寄せ、保険料をはぐく美保険サービスにお問合せください。  
〈保険にかかるお問い合わせ〉  
0120-56-8993  
(受付時間:月～金 9:00～17:00)

24時間365日事故受付サービス  
「三井住友海上事故受付センター」  
〈事故受付センター〉  
0120-258-189

